



2013-2014 年度
国際ロータリーのテーマ

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

3月

2013-2014 Rotary International District 2760

- ガバナーメッセージ…①／識字率向上月間に寄せて…②／記念式典…⑥
ロータリー財団補助金管理セミナー報告…⑧／文庫通信…⑧／IM 報告…⑨／分区紹介…⑬
国際協議会報告…⑭／新会員研修セミナー報告…⑮／あいち環境づくり推進協議会…⑯
ロータリー活動の公共イメージ向上作戦…⑰／会員寄稿…⑱／よもやま話…⑲
国際大会のお知らせ…⑳／中部経済新聞 全面広告掲載…㉑
編集室だより…㉒／会員数及び出席報告…㉓

ガバナーメッセージ

識字率向上月間

ガバナー 田中 正規

識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項です。ユネスコによると、世界で9億人以上の人々が読み書きが出来ず、その3分の2は女性です。読書のプログラムを企画すること、学校に本を寄贈すること、更に学校建設を援助すること、そして地域の図書館を援助することが要求されています。地域の識学水準が、その地域の生活水準に直結するという観点から、この月間中に読み書き、計算の出来ない人々を援助するために、ロータリーの各種プログラムを通じて、識字率の向上に取り組んでいます。日本には直接識字率の問題はあまりありませんが、識字率の低い国に目を向け、子供にとって豊かな人生のためにも必須の条件です。そのため、国際奉仕の中の重要項目として今年度は位置づけています。当地区のプロジェクトとして、ベトナムに幼稚園の改築工事をしました。そして3月4日～7日にかけて現地に、私と、地区国際奉仕委員会委員が引き渡し式に出席します。国際奉仕と国際親善友好を実現できる機会となります。

ガバナーとなってロータリー以外の国際交流事業にお呼びがかかることを知りました。一月に公益財団法人名古屋国際センターのアドバイザー委員会に出席しました。関係団体の代表が集まり年度事業の進捗状況を話し合いました。外国人の住みやすい環境づくり、研修事業（日本語学習支援等）を通じての国際理解の促進、国際交流行事の開催による交流の機会の提供、ボランティア・民間交流活動の振興、留学生支援に関する事業等の報告を受けました。「多くの職業人の集まりであるロータリアンが外部の奉仕団体と協力することは、幅広く地域のニーズに合わせ、国内外で奉仕活動を更に進める機会が増える」と私は思いました。



メキシコにて国際奉仕による
識字率向上プロジェクト



識字率向上月間に寄せて

津島ロータリークラブ 会長 鈴木 吉男



美しく汚れなき理想郷、タリバーンの支配下へ

パキスタン北部、カシミール地方とカイバル峠の間にあるスワート渓谷。かつては、豊かさと平和に満ちた生活が営まれていました。近代化を進め、男女両方に開かれた学校を建設、自動車では行くことができない遠隔地にも行政の手を届けました。

しかし、1969年、スワート地方の主権はパキスタン政府に渡り、さらに、2008年にはタリバーン政権が台頭、その後の2年間、人びとは厳格なイスラム法によって支配される生活を強いられました。公開処刑が行われ、女性への暴力が横行し、学校も破壊されました。

ジラニさんは1979年、生活の場を米国へと移しました。彼女は、一から集めたお金で学校を建設し、スワートからの難民のためにシェルターと薬品を提供、さらに、スワート地方に初のロータリークラブを創設しました。

教育への思い

クラブへの入会を呼びかけた最初の人たちの中に、教育者で活動家でもあるジアウディン・ユスフザイさんという人がいました。彼の娘は、今や世界の人となった、マララ・ユスフザイさんです。

15歳のとき、既に優等生として一目置かれる存在だったマララさん。科学、数学、イスラム教育、英語、ウルドゥ語の授業を受ける一方で、パシュトゥ語の詩から冒険物語にいたる幅広い書物を読んでいました。彼女のブログには、パキスタン軍とタリバーンの争いや、上空で大きな音をあげる武装ヘリコプターなど、タリバーンの影響下に置かれた生活に関する記述がありました。また、不足する書物、自分の夢、お気に入りのピンクの服、そして教育を受けられない日がある可能性などについて、彼女の思いが刻々と綴られていました。ある日のブログには、次のようなメッセージが書かれています。

「タリバーンが、女子の学校教育を禁止する法令を出しました」

「私は教育を受けます。私たちは全世界にお願いします。私たちの学校を、スワートの地を守ってください」
ブログでは、グル・マカイというパキスタン民謡の英雄の名を使用し、本名を名乗ることはできませんでした。

マララさんを襲った悲劇

2012年10月のある日、ジアウディン・ユスフザイさんは、全人教育の推進キャンペーンに参加していました。演壇に上がったとき、一本の電話が入りました。



「私は電話を取ってもらいました。すると彼が私の耳元で、娘が通う学校のバスが襲撃されたことを告げました。目の前が真っ暗になりました。マララが標的とされたにちがいないと感じたからです。」

被害者は、マララさんでした。スクールバスで帰宅中、銃を持った男が車中に押し入り、どの生徒がマララさんかを教えないと全員を殺すと脅したのです。恐怖に駆られた生徒たちは、マララさんの方を見つめるほかありませんでした。男は銃口をマララさんの頭に向け、至近距離から発砲しました。

事件から6日後、戦争被害者の治療を専門とする英国バーミンガムの病院に搬送されたマララさんは、そこで昏睡状態から目覚めました。

「どこの国に私はいるのですか？」とマララさんは尋ねたそうです。謙虚に振る舞いつつ、彼女は毅然として述べました。「タリバーンは私を殺そうと思ったことでしょう。でも、そうはさせません」

父親には「安心して」と声をかけ、ジラニさんには「人びとを助けようとする私のことを、きっと神様が守ってくれる」と述べました。

希望を新たに

2013年3月、マララさんは、バーミンガム市内の学校に通学し始めました。「私は一人の女の子に過ぎない」と彼女は言います。英国での勉学を開始したマララさんは、最初に、すべての子どもの教育を受ける権利を訴える署名活動を行いました。

父親は、ゴードン・ブラウン国連世界教育特使（元英国首相）の諮問役となりました。マララさんは、世界中の人が知る存在となりましたが、心の中には常に、故郷に再び繁栄の日が訪れることへの希望が宿っています。

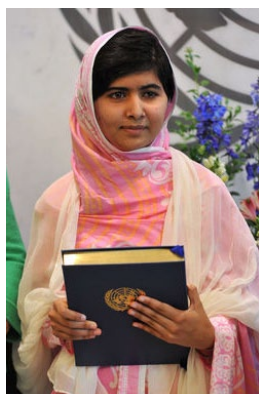
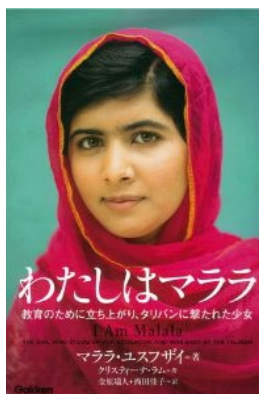
ジラニさんは、スワート地方への物資提供を通じて、地道な支援活動を続けています。「マララさんに起こったことは本当に恐ろしいことです。しかし、これによって世界が彼女に耳を傾けることになりました。きっと、彼女の目標を支える大きな力となるでしょう。いつの日か故郷へと戻り、私たちの活動が生み出した変化を知ってもらえたらいいなと感じています」

故郷に変化をもたらすこと、これはマララさんにとっても同じ願いです。彼女の父親は、今回の事件を振り返りながら、いつか故郷に帰ることを望んでいます。

「私たちの故郷、スワート溪谷に帰る日のことを夢見ています。そしたら、マララにもロータリーに参加してもらいます」

ロータリーのニュースは、国際ロータリーのツイッター日本版をフォローしてご覧ください。

記事：Kevin Cook 本稿は、「ザ・ロータリアン」誌2014年1月号からの抜粋です。 14-Jan-2014



国連本部でのスピーチ

【2013年7月12日 マララ・デー】

親愛なるみなさん、2012年10月9日、わたしは左の側頭部をタリバンに撃たれました。わたしの友だちも撃たれました。タリバンはピストルでわたしたちを撃てば、わたしたちを黙らせることができると考えたのでしょう。でも、そうはいきませんでした。わたしたちが声をあげられなくなったとき、何千人もの人々が声をあげたのです。

親愛なる兄弟姉妹のみなさん、わたしはだれと争う気持ちもありません。タリバンやその他のテロ集団に復讐してやろうという気持ちもありません。わたしがここにいるのは、すべての子どもには教育を受ける権利があると訴えるためです。タリバンを含めすべてのテロリストや過激派の子どもたちにも、教育を受けてほしいと思っています。

わたしは、わたしを撃った犯人のことも、憎んでいません。もしわたしが銃を持っていて、目の前に犯人が立っていたとしても、わたしは撃ちません。この思いやりの心を教えてくれたのは慈悲深い預言者ムハンマドであり、イエス・キリストであり、仏陀です。意識を変革することを教えてくれたのは、マーティン・ルーサー・キング、ネルソン・マンデラ、ムハンマド・アリー・ジンナーです。非暴力の哲学を教えてくれたのは、ガンディー、バシャ・カーン、マザー・テレサ。そして、人を許す心を教えてくれたのは、わたしの父と母です。わたし自身の魂も、こういっています。「平和を大切にしてください、すべての人を愛してください」

「ペンは剣よりも強し」ということわざがあります。まさにそのとおりです。過激派は、本とペンを恐れていました。そしていまも恐れています。教育の力が怖いのです。彼らはまた、女性を恐れています。女性の声を持つ力が怖いのです。だから、彼らは人を殺すのです。最近では、クエッタの罪のない学生を14人も殺しました。女性教師や、ポリオ撲滅を目指す活動家を何人も殺しました。毎日学校を爆破するのも、同じ理由です。昔もいまも、かれらは変化を恐れているのです。わたしたちの活動によって、平等な社会が生まれたら困ると思っているのです。

わたしの学校の男の子が、ジャーナリストから「タリバンはなぜ教育に反対しているのか」と質問されたことがあります。男の子はとてもシンプルに答えました。本を指さして、「タリバンはこの本に何が書いてあるか知らないからです」といったのです。テロリストは、神様のことを、学校に通っている女の子をただそれだけの理由で地獄に落とすような、心の狭い保守主義者だと思っているのです。テロリストはイスラムの名とパシュトゥン人社会を利用して、自分たちの利益を求めています。パキスタンは平和を愛する民主主義国家です。イスラム教は、平和と人道と同胞愛を重んじる宗教です。イスラムの教えによると、子どもに



識字率向上月間

は教育を受ける権利があるというだけではありません。おとなにも、子どもに教育を受けさせる義務と責任があるのです。

事務総長殿、教育には平和が必要です。世界の多くの地域で一なかでもパキスタンとアフガニスタンではとくに、テロや戦争、紛争によって、子どもたちが学校に通えない状況になっています。戦争や紛争はもうたくさんです。親愛なる兄弟姉妹のみなさん、いまこそ声をあげるときです。

すべての政府をお願いします。世界じゅうのすべての子どもが無償で義務教育を受けられるようにしてください。テロや暴力と闘い、子どもたちが残虐行為や危害を受けないようにしてください。

先進諸国をお願いします。開発途上国の女の子の教育機会拡大を支援してください。

親愛なる兄弟姉妹のみなさん、すべての子どもの輝ける未来のために、わたしたちは学校と教育を求めます。わたしたちはこれからも旅を続けます。その目的地は、平和と教育。だれもわたしたちを止めることはできません。わたしたちはみずからの権利を求めて声をあげ、その声によって変化をもたらします。

言葉には力があります。わたしたちの言葉で世界を変えることができます。みんなが団結して教育を求めれば、世界は変えられます。でもそのためには、強くならなければなりません。知識という武器を持ちましょう。連帯と絆という盾を持ちましょう。

親愛なる兄弟姉妹のみなさん、忘れてはなりません。何百万人もの人が貧困、不正、無知に苦しんでいます。何百万もの子どもたちが学校に通えずにいます。わたしたちの兄弟姉妹が、明るく平和な未来を待ち望んでいます。

そのために、世界の無学、貧困、テロに立ち向かいましょう。本とペンを持って闘いましょう。それこそが、わたしたちのもっとも強力な武器なのです。ひとりの子ども、ひとりの教師、一冊の本、そして、1本のペンが、世界を変えるのです。

教育こそ、唯一の解決策です。まず、教育を。





三河安城RC15周年

2013～2014 三河安城ロータリークラブ会長 寺部 保美

2014年1月22日三河安城ロータリークラブは創立15周年の記念例会を挙行了しました。ゲストに、西三河分区分神谷正康ガバナー補佐、杉田明宏地区副幹事、都築雅人安城ロータリークラブ会長、神谷研安城ロータリークラブ幹事、岩瀬せつ子安城市私立幼稚園ロータリー地域社会共同隊隊長をお迎えしました。

三河安城ロータリークラブは15年前、安城ロータリークラブをスポンサークラブとして誕生しました。誕生に際しては、当時RI第2760地区ガバナー野村重彦様、同じく地区代表幹事内藤耕造様、地区拡大委員長加藤正男様、三河安城ロータリークラブ特別代表稲垣和秀様、安城ロータリークラブ会長七野滋彦様の格別なご尽力・お骨折りがありました。ここに、5人の方々へ心から敬意と感謝の意を表します。

さて、三河安城ロータリークラブは安城ロータリークラブから移籍した勇気ある23名の同士と12名の会員増強により、石原勝成初代会長のもと35名からスタートし、今日63名の会員を有する堅実なクラブとして成長してまいりました。これは、歴代会長及び会員が相互に親睦と増強に努め、ロータリーの精神を大切に実践し、地域に貢献してこられた成果であると感謝申し上げます。

当クラブは、今日までにさまざま社会奉仕事業に取組んでまいりました。さらに15周年を記念してRCCを立ち上げ、市内の私立幼稚園の教育環境の支援を行い、地域への貢献を一層深めてまいります。今後ともご支援・ご厚情をよろしくお願い申し上げます。



名古屋西RC60周年

名古屋西ロータリークラブ 幹事 神谷 竜也

当クラブは名古屋ロータリークラブをスポンサークラブとして1953年12月10日に設立総会を行い、1954年2月5日、国際ロータリーの認証状をいただき、名古屋市内で2番目、戦後としては市内最初のクラブとして27名のチャーターメンバーにて発足致しました。多い時には160名以上の会員がいましたが、経済情勢の変化、高齢化などで年々減少しましたが、今回の式典には、会員数100名にて迎える事が出来ました。

2014年2月5日にウェスティンナゴヤキャッスルに於いて、下田一幸・名古屋市教育委員会教育長様、堀場和夫・中村区長様、第2760地区田中正規ガバナーをはじめ、多数のゲストガバナーにご参集頂き、無事に創立60周年記念式典を終える事が出来ました。改めて感謝と御礼を申し上げます。

創立60周年の記念事業として陸前高田市の子どもたちとの交流事業の活動資金として名古屋市教育委員会に60万円、南海トラフ地震等の災害に備えるため地域防災倉庫と備品一式60万円相当を中村区長に寄贈致しました。

記念講演では、阿川佐和子氏をお迎えし「聞く力」はなぜ売れたかについて、お話し頂きました。

晩餐会に於いては、八代名誉実行委員長のユーモア溢れる挨拶、西名古屋分区分ガバナー補佐・川原弘久様による乾杯にて始まりしました。来賓、名古屋市内の各ロータリークラブとの有意義なひと時を過ごす事が出来ました。田中義一実行副委員長による御礼の言葉で閉会致しました。





豊川RC創立55周年記念例会

豊川ロータリークラブ 幹事 渡辺 稔明

豊川ロータリークラブは2014年2月9日(日)豊川閣妙巖寺におきまして、赤井知久ガバナー補佐をはじめ東三河分区会長・幹事、豊川市長山脇実様、姉妹締結クラブ中華民国岡山RCメンバーご家族総勢25名にご臨席賜り、創立55周年記念例会を挙行了しました。ご臨席いただきました皆様に改めまして感謝申し上げます。

当クラブは、1959年2月9日20名のチャーターメンバーにより、大澤秀雄初代会長のもとスタートしました。創立にご尽力いただいた方々に心から敬意を表したいと思います。この創立記念例会を、創立記念の日に、チャーターナイトを開催した縁の深い豊川閣妙巖寺で開催できましたことは、我々メンバーにとりましてこの上ない喜びとなりました。

記念式典の後、本殿にてご祈禱を受け、記念撮影を行い、祝賀会では、豊川ロータリークラブ名誉会員の豊川閣妙巖寺本宮顯道ご住職の乾杯により精進料理を食しながら、琴の演奏を聴き、和やかななかで、記念例会を終えることができました。

これからも初心を忘れず、豊川ロータリークラブの伝統を大切に、次代に向けてロータリー活動に取り組んで行きたいと思っております。ありがとうございました。



名古屋大須RC30周年記念例会

30周年実行委員会 委員長 堀江 英弥



名古屋大須RCは30周年記念例会を2月12日名古屋東急ホテルにて開催致しました。

当日は田中ガバナー・榊原地区幹事をはじめ、名古屋市内クラブのバストガバナー、名古屋RC・名古屋中RC・名古屋栄RC各会長幹事ほか地域を代表して大須商店街連盟会長・猿投の森づくりの会・会員OBや会員ご婦人など大勢のビジターをお迎えし、《シンプル・スマート&スマイル》をコンセプトとして開催致しました。

オオスシンガーズの生コーラスにのせて、今年度事業のネパール訪問「太陽光発電装置寄贈」や猿投「OSU山桜フィールド」の整備、大須小学校とネパール児童とのインターネット回線による国際交流など、30年間の歩みと5年・10年・30年そして未来への発展を誓うDVDでオープニングが始まりました。その後木村会長の挨拶に続き、田中ガバナーのご祝辞、盛田PGのご発声による乾杯で祝宴となりました。祝電の披露もあり、OBも交えてご歓談いただきました。

後段はがらりと雰囲気を変え、寄席太鼓に乗って名古屋大須ロータリー30周年寿寄席の開演となりました。三笑亭夢太郎師匠の軽妙な落語に始まり、曲芸師・鏡味千代さんの妙技に見とれ、最後は桂歌丸師匠の落語で笑いの渦に引き込まれ、大いに楽しみました。

最後は全員大きな輪になりオオスシンガーズと共に「手に手つないで」の大合唱をして、和気藹々のうちに更なる奉仕と友情を誓って終宴となりました。





ロータリー財団補助金管理セミナー報告

地区ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 文勝

2014年2月4日名古屋東急ホテルにて、次年度（2014-15年度）の為にロータリー財団補助金管理セミナーを開催致しました。田中ガバナー及び近藤ガバナーエレクトのご指導のもと、次期地区役員の皆様のご出席を賜り、地区内83全クラブがこの補助金管理セミナーに参加して頂くことが出来ましたことを大変喜んでおります。ご承知の通り、各クラブが補助金を利用する奉仕プロジェクトを実施するためには、補助金管理セミナーに出席して頂かなければなりません。全クラブが出席して頂けたことはすべてのクラブが補助金事業に取り組んで行こうとするご意志の表れであることに敬意を表する次第です。

今年度から「未来の夢計画」が全世界で展開されることになりました。3年間の試験期間を経て数々の問題点、課題に取り組み、補助金システムや制約条件などの見直しが行なわれています。当地区は他地区に先んじてパイロット地区として運営をして来ましたが、それに甘んじる事無く新たな気持ちで「未来の夢計画」に取り組む姿勢が大事だと思っております。「補助金管理セミナー」を主管するロータリー財団委員会は、再度、補助金管理システムを勉強し、

各クラブの次年度代表者の皆様に分かり易く充実したセミナーになるよう準備をさせて頂きました。この度のセミナーの特徴は、各クラブの皆様が補助金を活用するために理解しやすく、具体的なプロジェクトの事例説明を踏まえて積極的に取り組んで行こうとして頂けるセミナーとなるように努めました。ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」であります。世界のニーズに、地域にニーズに沿って、持続的で効果的な成果をあげるためには、各クラブのリーダーの皆様まにロータリー財団をより深く理解して頂くことが重要です。地区ロータリー財団補助金管理セミナーの目的はそこにあります。

本年度のロータリー財団委員会の取り組みテーマは、「ロータリー財団は、みなさまの未来の夢計画をお手伝い致します」とさせて頂いております。皆様には、気兼ねなく当委員会にお問い合わせを頂けますようお願い申し上げます。ましてこの度の報告とさせて頂きます。



317号

文庫通信

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル3階
TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より（2）

- ◎ 『「奉仕の理想」をめぐってその2』 本田博己 2013 4p (D.2840月信)
- ◎ 『「四大奉仕」がどうして『五大奉仕』になったのか?』 本田博己 2013 3p (D.2840月信)
- ◎ 『「職業奉仕」はロータリーの根幹か?』 本田博己 2013 4p (D.2840月信)
- ◎ 「地区大会その1～3」 深川純一 伊丹 R.C. 2013 3p (純ちゃんのコーナー Part XII)
- ◎ 「ロータリーの歴史年表」 諏訪昭登 2013 7p
- ◎ 「JUSTICE in The ROTARY ロータリーの正義」 田淵水作夫 2013 69p
- ◎ 「あかあかや あかあかあかや」 市川伊三夫 [2006] 2p (ガバナー所感集)
- ◎ 「近頃の世相に想うこと」 市川伊三夫 [2006] 2p (ガバナー所感集)

[上記申込先：ロータリー文庫]

- ◎ 「国際ロータリー日本人 RI 理事と日本ロータリー 93 年の流れ」 前岡志郎 2013 8p
[申込先：前岡志郎 FAX(0977)26-1444]



南尾張分区

ガバナー補佐 石川 勝彦

2月8日(土)、名鉄グランドホテルにて半田南ロータリークラブ主管でI.M.を開催しました。あいにくの雪でしたが、7クラブ260余名の全員登録、200余名の参加で行われました。地区内最小のクラブ数会員ですが、知多半島という限られた地域でまとまっています。

今年度につきましては、新入会員研修の場を懇親会場に移し、式典・講演・懇親の流れで行いました。講演はガバナー方針“磨いて輝こう”のテーマの基、日本ハグ協会の高木さと子さんが「働く喜びを実感できる職場をつくろう」～会社が元気になる3つの秘密～と言う事で、コミュニケーションの大切さを実践を交えてご指導戴きました。一方的な講演とは異なり、会員同士が知り合い理解するふれあいの場ともなりました。

懇親会においては、2011年の東日本大震災を機に活動の場を嫁ぎ先の尾張旭市から生まれ故郷の青森に移した津軽三味線奏者の中野みち子さんをお招きし、三味線、民謡そして津軽手踊りと、会員が初めて体験する素晴らしいアトラクションとなりました。恐らく8地区のI.M.の中で講演もアトラクションも共に女性であるのは、我が南尾張分区が初めての試みでないかと思えます。全員がロータリークラブに入会している事に喜び、自覚し、感謝し、今後のロータリーの指針になったのではと自負しています。3月には常滑RCがライラセミナー、次年度は半田RCが地区大会を主管します。よろしくお願ひします。以上を持ちまして、ご報告に代えさせて戴きます。



東尾張分区

ガバナー補佐 丹羽 司一

2014年を迎えて初めての大雪を前日に迎えたことで、皆様のご参加を心配しながら迎えた2月15日、幸いにして翌朝には雪は雨に変わり、昼頃には雨もあがるなど、無事に2013-2014年度の東尾張分区インターシティミーティングを開催することができました。会場は名古屋市中区の「ウエスティンナゴヤキャッスル」でした。

東尾張分区11クラブに全員登録をお願いし、皆様のご好意で306名の登録をいただきましたが、天候のせいもあって20名ほどの欠席が出たことは誠に残念でしたが、東尾張分区のロータリアンが一堂に集まる盛大な会を開催できたことは、主催した愛知長久手ロータリークラブの一員として、ご参加された皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

また、特別出席者として、ご多忙の為に欠席された田中ガバナーの代理として、地区副幹事を務められる原田保男様にご出席いただいたほか、福田浩三様、福田清成様、江崎柳節様のパストガバナーや多くのパストガバナー補佐をお迎えするなど、多くのご来賓にお来いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

第一部の式典では、点鐘、開会のことば、歓迎のことば、ご来賓の紹介に続いて、ガバナー補佐としてご挨拶を申し上げました際には、各クラブを訪れた際の歓待にお礼を申し上げた上で、この日の予定とその意義を皆様にご説明しました。

第二部は所属クラブからの活動報告ですが、テーマは「地域環境に対してロータリーができること」としました。

ロータリークラブは地域単位での活動が基本になります。それぞれの地域が持つ特性を踏まえて、どういった活動をしていくのが望ましいのかを考える上で、地域の環境、特性を改めてとらえ直すことが活動の指針になると考えました。

私たちが活動の拠点とする東尾張地区は、名古屋に隣接する利便性と、豊かな自然に恵まれているという二面性を有しています。こうした地域特性のなかで、地域に密着したロータリー活動を考え直したいと考えました。

今回は東尾張分区に所属する11ロータリーの中から、時間の都合上、瀬戸、春日井、名古屋空港、名古屋城北のクラブに発表をお願いし、それぞれのクラブの活動をパワーポイントで画像を拝見しながらお聞きすることができましたが、こうして他クラブの活動を勉強し、我がクラブの活動に役立てることこそ、インターシティミーティングの意義であると考えます。

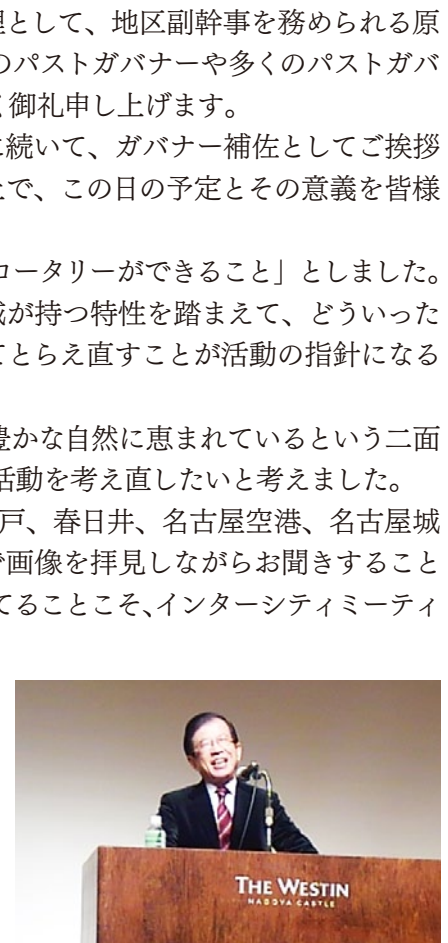
第三部では、中部大学で教鞭をとられる武田邦彦先生による講演を開催しました。

武田先生は、環境問題に造詣が深く、しかも独自の視点で環境問題に一石を投じるユニークな学者です。テレビなどの出演もあって多忙を極める方ですが、お忙しい中、個人的な友好もあって無理矢理講演をお願いしました。

テーマとなった環境問題については、「石油が無くなる、エネルギー消費量を抑えようと言っているのは日本だけ」など、通説を覆すようなお話をお聞きできたほか、「ロータリーに属するような50歳代以上の人間が、次の世代の為に活動しなければ」など、出席したロータリアンを鼓舞するような講演内容でした。時に笑いを交えながら、楽しくも考えさせられる講演で、規定の時間を超えるほど力のこもったお話をしていただきました。時間が許せば、もう少しお話をうかがいたいと思ったほどでした。

その後、勉強会を終えて次期ガバナー補佐と次期IMホストクラブの紹介を経て懇親会へ。立食パーティーでは、式典では出来なかった個人的な交流や会話も盛り上がったようです。

この日のインターシティミーティングを通じて、大いに語り、交流を深めていただき、ご参加されたロータリアンにとって有意義な一日となっていること、そしてこの会が皆様の今後のロータリー活動の一助になればと願っております。





西三河中分区

西三河中分区幹事 山田 守男

- テーマ 歴史に学ぶ岡崎と豊田の関わり
- 開催日 2014年2月15日(土)
- 会場 名鉄トヨタホテル
- ホストクラブ 豊田東ロータリークラブ



岡崎・豊田地区をテリトリーとする西三河中分区のI・Mが、分区内9クラブの会長を始めとするメンバーの皆さん、そして関係者など約270名の方々に参加して頂き、盛大に開催する事ができました。

開会式で挨拶に立った梅村ガバナー補佐は「IMは分区内のメンバーが一堂に会し、ロータリーの奉仕の理念を探求すると共に、メンバー同士の絆を深める良い機会であります。IMを通して各クラブの絆が一層深まり、友情の輪が広がる事を期待します。」と力強く話されました。その後来賓として挨拶された開催地の太田豊田市長は「安心安全な街づくりに努めているが、ロータリアンの皆さんの協力と活躍に期待する」と述べられました。

今回のIMは講演会形式で行なわれ、講師には歴史作家の井沢元彦氏をお迎えし「岡崎・豊田から見た日本史」と題してお話をして頂きました。矢作川流域にある岡崎と豊田の町は、古くから商業や工業の町として関わりを持ちながら発展してきました。特に一国の統一を成し遂げた徳川家康公ゆかりの地として歴史的にも関わりが深く、大変興味深いテーマでもありました。その徳川家康公の没後400年を間近に迎え、この地域では各種行事が催されると聞いています。今後益々岡崎・豊田を含めた三河の地は、歴史を通して今まで以上に注目される事になると思います。郷土の歴史を学ぶ事は郷土愛を育み、奉仕を旨とする私たちロータリアンにとって大変重要であると思います。講演時間は90分と長時間に及びましたが、会場の皆さんには最後まで興味深く真剣に聞いて頂く事ができました。



講演終了後には恒例の懇親会が催されました。懇親会では先ず岩瀬地区副幹事に挨拶して頂き、斎籐パストガバナーの乾杯の音頭で宴が始まりました。アトラクションは地元を拠点として活躍する、メグリア生協ポップスジャズハードが会場を盛り上げてくれました。懇親会を通して会員同士の交流を深める事もIMの目的の一つであります。参加された皆さんに楽しんで頂けたものと思います。

ホストクラブである豊田東ロータリークラブの皆さん、そして参加頂いた全ての皆さんに感謝申し上げ報告と致します。



講師と梅村ガバナー補佐を囲んで ホストクラブ豊田東 RC メンバー

西三河分区

西尾一色ロータリークラブ 早川 比呂太

2014年2月15日(土) ホテルグランドティアラ安城にて、RI第2760地区2013～2014年度西三河分区の「Intercity Meeting」が、来賓として大村秀章愛知県知事、特別出席者として盛田和昭パストガバナー、野村重彦パストガバナー、杉田明弘地区副幹事、黒田勝基次年度ガバナー補佐、近藤智樹次年度分区幹事、高桑雄司次年度IMホストクラブ会長の皆様をお招きし、総勢370名の参加者のもと開催されました。

都築勇一IM副実行委員長の開会の言葉、神谷正康ガバナー補佐の点鐘、国歌「君が代」並びにロータリーソング「奉仕の理想」斉唱の後、鈴木茂朗ホストクラブ西尾一色RC会長が「IMは9クラブの皆様が一堂に会する年に一度の機会であります。皆様の親睦と好意と友情を深めていただける機会とできるように、神谷正康ガバナー補佐、小池孝IM実行委員長を中心にして、西尾一色RC会員全員でIMを有意義な会にしたいと思います。」と挨拶しました。続いて、小池孝IM実行委員長が「今回のIMの開催に際しまして、分区内9クラブから全員登録という大変素晴らしいご支援ご協力を賜り、皆様の変わらぬ友情に感謝申し上げます。」と挨拶しました。また、盛田和昭パストガバナー、杉田明弘地区副幹事にも挨拶を頂戴し、西尾一色RCがこの2年間に、姉妹クラブである米国サンフランシスコ、サン・リアンドロRCの来日、設立50周年記念式典並びに記念行事・日本芸術院会員山本眞輔氏彫刻展の開催、2013～2014年度のための地区協議会ホストクラブの担当、西三河分区ガバナー補佐輩出、そして今回のIMのホストクラブと、会員数の少ないクラブとして立派に務めてきたことを評価されました。最後に、神谷正康ガバナー補佐が挨拶され、講演の講師をお願いしたところ快くお引き受け下さった司葉子様に感謝の意を表し、分区のIMにガバナー及び地区幹事が出席されることは本来ありませんが、西尾RCから一会員として出席されている田中正規ガバナー、榊原勝俊地区幹事の紹介をされました。そして、神谷正康ガバナー補佐から来賓の大村秀章愛知県知事に、教育行政に生かしてほしいと寄附金を贈呈され、大村知事からも挨拶を頂戴し第一部・式典は終了しました。



第一部・講演会は、テーマ「会員増強と女優人生」と題しまして、第2750地区会員増強委員長で、女優の司葉子様にご講演をしていただきました。最初に女優人生50年間を振り返り、出演映画、共演者、監督などの紹介のDVDが流され、数多くの映画や舞台に出演されたことを改めて知ることができました。講演では所属の東京恵比寿RCが、男性54名、女性46名と日本一女性会員の多いクラブであること、映画での活躍を生かして社会に貢献していきたい、会員増強については何回も声掛けが必要であると話されました。第一部の最後に、黒田勝基次年度ガバナー補佐、高桑雄司次年度IMホストクラブ会長が紹介され、「会員数34名の小さなクラブのため、手造りで一生懸命おもてなしさせていただきます。例年同様全員登録でお願いします。」と挨拶されました。そして第二部懇親会が野村重彦パストガバナーの乾杯の音頭により開宴されました。アトラクションとして吉良和太鼓クラブ「華龍音(カリオン)」による太鼓の演奏がなされ、会場の皆さんにも参加していただき、実際に太鼓をたたいていただきました。最後に、全員が手をつないで輪になりロータリーソング「手に手つないで」を斉唱し、山下保彦ホストクラブ西尾一色RC会長エレクトがお礼のご挨拶を行い、楽しい懇親会が終宴となりました。特別出席者の皆様並びに西三河分区9クラブの皆様、ご支援ご協力誠に有難うございました。





東三河分区

わが分区には北は愛知の屋根とも呼ばれる山間部の奥三河から南は常春の地とも呼ばれる渥美半島の先端である渥美まで、最も歴史のある豊橋クラブを中心に南北に13のクラブが存在します。最も新しいクラブでも創立以来10年以上の歴史があります。それぞれのクラブの歴史の中で、時代と共にその活動内容も少しずつ変化してきているように思われます。また、120名を超えるメンバーを抱え、格式を重んじるクラブから15名といった家庭的でこぢんまりはしてはい

るものの、とてもまとまりの良いクラブもあります。大げさに言えば世界の或いは国内全クラブの縮図的存在と言っても良い分区ではないかと思っています。チャーターメンバーが少なくなる中、温故を考えるクラブも多くあり、入会歴の永いメンバーにも大いに参加してもらおう運営を図っているクラブが多いように思います。全メンバーに卓話をお願いするといった試みもその一例であります。親子三代のロータリアンも随分増えてきており、新たなメンバーとの融合が更なるこの地域のロータリーの発展に繋がることを大いに期待するものであります。是非メーキャップに東三河分区の各クラブをお訪ね下さい。お待ち申し上げます。



Rotary





国際協議会に出席して

ガバナーエレクト 近藤 雄亮

1月11日日本を出発してロサンゼルスに一泊し、翌日バスにて国際協議会が開催されるサンディエゴに向かいました。バスが到着すると、田中RI元会長をはじめRI理事の方々が温かく迎えて下さいました。当日は諸事注意事項を聞いたり会場案内をして頂いたりし、その後RI会長主催歓迎レセプションに出席し、RI会長ノミニー、RI会長エレクト、RI会長と握手をし、親しく会話をさせて頂きました。翌日13日月曜日からいよいよ国際協議会が始まり、最終日17日金曜日まで本会議8回、ワークショップ3回、アイデア交換5回、パネルディスカッション2回というスケジュールをこなしました。最初の本会議でゲイリーC.K.ホァンRI会長エレクトより2014-15年度テーマ講演があり、大変盛り上がる演出の中RIテーマ発表がありました。『2015年はロータリーの110周年になるので会員数が130万人になるよう頑張ってください。ロータリー公共イメージアップの為に一般の人達も参加できるロータリーデーを実施して欲しい。また、ポリオ撲滅まであと一歩であるので、目標の2018年にはポリオ撲滅宣言が出来るよう関心を向けて欲しい』旨の話がありました。朝から夕方までの勉強会のスケジュールで少し疲れましたが、国内外を問わず同期のガバナーエレクトの人達と仲良くでき、楽しい1週間を過ごすことができました。関係各位に感謝申し上げると共にガバナー年度を一生懸命務め上げたいと思いました。



写真提供
一般社団法人ロータリーの友事務所





新会員研修セミナー報告

三河地区

地区研修委員
細井 英治



去る2014年2月1日(土)今年度の「新会員研修セミナー」を豊橋創造大学にて開催いたしました。

今回は三河地区(東三河分区、西三河中分区、西三河分区)のみで、100名の参加で開催いたしました。午前11時に井上穂研修委員より開会のことばにはじまり、講演として田中正規ガバナーより「2013～2014年度RI会長ロン・D・バートン氏の強調事項について」講演いただきました。続いて田嶋好博地区研修リーダーより「新会員研修セミナーの目的」について説明をいただきました。

そして、本日のテーマ「四つのテスト」について関口宗男地区研修委員長より詳しく解説していただきました。その後昼食を挟み午後より、RLI討論方式による新会員を各12～13名の8グループに分かれて討論を行いました。大変活発な意見が交わされ1時間があっという間に過ぎてしまいました。終了後、8グループより各グループの代表者に討論の感想を含めて内容の発表をしていただきました。終了後に田嶋好博地区研修リーダーより講評をいただき大変有意義なセミナーであったとのコメントをいただきました。

最後に、井上穂研修委員より今回三河地区で開催するにあたり、はじめてであり開催するに際しましては、豊橋クラブに会場をはじめ食事の手配など大変お世話になったことに対して感謝を申し上げ閉会のあいさつで無事終了いたしました。

今回三河地区での開催にあたり、地区研修委員会の皆様をはじめ豊橋クラブの皆様、そして関係の皆様にも多大なるご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

名古屋・尾張地区

地区研修委員
太田 達夫



地区の新会員研修セミナー初の試みとして、名古屋・尾張地区と三河地区とを分けた2地区での開催となりました。名古屋・尾張地区51RCから(内13RC未登録)120名の登録を頂きました。研修の内容は下記の通りですが、講師のRI2590地区PG金杉誠氏は当地区初めての来訪であり、新会員に対するセミナーという事前の打ち合わせで「四つのテスト」を中心とした大変解りやすい講演であったと思います。

また全員参加型のセミナーとするために今年度もRLI方式を取り入れ、①講演の感想 ②入会して理想と現実 ③例会と出席 ④四つのテスト の研修テーマを自由な発言を基に研修いたしました。その中で全体的な印象として四つのテストに関しての認識が浅いと感じました。

尚、当日のRLI方式での新会員各位の感想については[こちら](#)にて詳細をご覧くださいだけです。

記

2014年1月25日 午後1時受付 午後2時開会
於：名鉄グランドホテル

- | | |
|-------------|-----------------|
| 点鐘並び挨拶 | 田中 正規ガバナー |
| 研修目的に関する挨拶 | 田嶋 好博研修リーダー |
| 研修内容に関する挨拶 | 関口 宗男研修委員長 |
| 講演「ロータリーと私」 | RI2590地区PG 金杉 誠 |
| RLI研修4つのテーマ | 研修委員会 DL |
| 講評 | 田嶋 好博研修リーダー |
| 閉会点鐘 | 田中 正規ガバナー |

あいち環境づくり 推進協議会

26年2月17日(月) 愛知県庁 東大手庁舎



環境保全委員長 高橋 豊彦

去る、2月17日に愛知県内の環境に関わる46団体や事業者の方たちが集まり、愛知県の環境づくりに関しての様々な議論がなされました。

愛知県にとって2014年は、まさにESDイヤーとしていかに「環境」そして「持続可能な発展を担う人材を育てる環境整備」をしていけるかということを具体的に取り組んでいきます。

この愛知県は自然の叡智をテーマに行われた「愛地球博」に始まり、COP10の開催が行われただけでなく、この開催に多くの市民が積極的に関わって頂いた事で、他県に誇ることできる環境への関心が高い県民性が醸成されていると言われています。

そして、今年11月に白鳥の国際会議場で開催されるESDユネスコ世界会議を通じて、持続可能な取り組みを世界に発信していきたい。また、Development(発展)という言葉をもとに、どのように捉えるべきか、ということも教育の場で次世代を担う人達と一緒に考えていきたい。そのような、場面としてESDの成功を願っています。

また、現在愛知県では平成9年にスタートした環境基本計画をもとに、この先の10年を見据えたプラン作りとして「第4次環境基本計画」の取りまとめに入っています。

そこでは「2030年環境首都あいち」として、「環境と経済の調和のとれたあいち」「安全で快適に暮らせるあいち」「県民みんなが行動するあいち」の三つのコンセプトを軸に、「日本一のモノづくり地域として、良好な環境のもとで持続的に発展する地域」、「県民みんながいつまでも暮らしていきたいと思える日本一安全で快適な地域」、「県民一人ひとりが高い環境意識を持ち環境配慮行動、日本一活発な地域」を目指して県民みんなが未来へつなぐ「環境首都あいち」の実現を目指していくことが確認されました。

また、学校教育などの場面ではESDを機会にESDの推進拠点としてユネスコスクールの加盟も進んできています。そのような取り組みなども含め、「社会の問題を自分の問題として自ら解決することができるための学びの場を支えて欲しい。」という学校関係関係者からの意見が印象的でした。

ロータリー活動の公共イメージ向上作戦



新幹線名古屋駅西前 大型ビジョン

1905年2月23日、ロータリーはアメリカ・シカゴで誕生しました。この日を記念して公共イメージ向上作戦としまして、同時期に全国の大都市の繁華街などにある大型ビジョンにロータリーに関する映像を放送しております。当地区は、JR新幹線名古屋駅前 OVA21ビル壁面の大型ビジョンに放送中でございます。

放送期間は2月10日(月)～3月31日(月)、AM6:00～0:00までの間、1時間に2回(毎時29分30秒～、59分30秒～、各30秒)です。

※タイムスケジュールは変更になる場合がございます。

インターネットや新しい広告媒体を通じ、ロータリーの活動を外に向けて広報し、活動に賛同する多くの仲間を増やす一助になれば幸いです。

名古屋和合ロータリークラブ会長
日本ペンクラブ会員 鷲塚 貞長

関の小萬



三代・豊国 嘉永5年5月



三代・豊国 安政4年

東海道五十三次の宿場町の中で、国の“重要伝統的建造物群”に指定されている、約200軒もの町屋が現存しているのは、“関宿”だけです。関といえば、“刃物の関”が浮かびますが、“関宿”は、三重県の亀山市街から西に6キロ程に位置し、国道1号線の側道になりますので、これだけの史跡にもかかわらず、意外に知られていません。

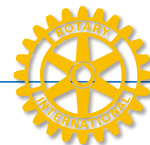
関宿にはいくつかの“興味ある伝聞”がありますが、最も有名なものが、“関の小萬の仇討”です。（伝説とは、有史以前の出来事に用いる表現です）十代將軍・家治の頃、久留米藩士・牧藤左衛門は、同僚の小野元就との諍いで斬殺され、小野は逐電、その後名を小林軍太夫と変え、亀山藩に仕官していることが判明します。故藤左衛門の妻女は身重にも拘らず、仇討に亀山に向かいますが、一步手前の関宿の旅籠で女の子を出産し、産後の肥立ちが悪く旅籠で亡くなります。事情を知った旅籠の亭主は、仇討の本懐を遂げさせようと、女の子に小萬と名付け、自分の娘として育てます。12歳になった小萬は、亀山城下の榊原権八郎道場に6年間通い、必殺の突きを体得し、天明3年（1783年）18歳の時、本懐をとげます。関宿の標識が立っているすぐ西には、小萬の榊原道場通い縁の、“関の小萬もたれの松”があります。（松は3代目ですが）

この仇討が、史実か伝聞なのかを明確に証明する、資料が十分でなく、また、小萬という、ごくありふれた名前が混乱を招いていました。近松門左衛門作の「与作と小万」の中で登場する、「坂は照る照る、鈴鹿は曇る、あいの土山雨が降る」の歌詞で知られる鈴鹿馬子唄が、あまりにも有名で、小万という名が、後世になり仇討小萬と混同されていますが、この作品は仇討の100年も前のもので、ここで登場する小万は遊女です。著名な浮世絵師・豊国三代作の、小萬を題材にした浮世絵が2枚、今日に伝わっていますが、この二枚こそが、小萬の仇討を証明する鍵であることに、私は気付いたのです。

浮世絵はその落款から、刷られた年月を知ることができ、仇討より70年後の、嘉永五年五月の世に出た「関の小萬」は、腰に刀を手挟み、背中に尺八と、当時の人気女形・岩井紫若の役者見立ての“女伊達”です。女伊達とは、男を遥かに凌駕した、武勇に秀でた烈女のことです。関宿は、東海道宿場町の中でも、伊勢神宮の一ノ鳥居が存在する、有名な宿場であったので、若き身空で、仇討を果たした小萬のエピソードは、行き交う大勢の旅人により、江戸の豊国の耳に届くのは当然の成り行きでしょう。

そして、その4年後の安政4年に、同じ豊国三代の作「伊達の与作と関の小まん」に登場する小まんは、上述した、近松門左衛門の「馬子与作と遊女小まん」を描いたものに外なりません。また女伊達は小萬、与作と小まんは、まんの字がひらがなと、同じ作者が明らかに異なった表現を用いています。小萬が6年間通った、亀山城下の榊原権八郎道場が存在したことも記録に残っており、また、菩提寺にある山田屋の過去帳にも、小萬の名が残されていることよりも、関の小萬の仇討伝聞は、伝聞でなく、史実であったと確信します。

さらなるエビデンスの為、久留米藩主より、牧藤左衛門・妻女に対する仇討ち免許状の記録や、当時の藩士名簿など、久留米市に調査を依頼したが、久留米藩に関する古文書などは、ほとんど保存されていないとの返答がありました。



広報
委員会の

よもやま話

No.20

〔第2760地区広報委員会〕

委員長：尾本 和弘(名古屋東南) 副委員長：佐久間 武美(雑誌)(豊橋北) 池森 由幸(Web)(名古屋千種) 田中 粹人(管理)(豊川)
委員：岡田 邦義(岡崎) 堀尾 明史(尾張中央) 堀田 力男(津島) 松崎 美都子(名古屋守山) 城野 八代江(名古屋名駅)
志水 ひろみ(春日井) 坂野 弘(岡崎東) 糸井 学(名古屋みなと) 杉浦 令淑(名古屋大須) 平野 好道(名古屋瑞穂)

ロータリアンのみなさん『ガバナー月信』を地区ホームページからお読みになっていますか？

大島宏彦 PDG(2004-05) 年度に初めて当地区のガバナーホームページが出来、月信配信が10年に成ります。大島ガバナー月信がインターネット配信に成り印刷物での発刊はされませんでした。戸惑いもあり当時のインターネットの普及状況から大島ガバナー月信を見られたロータリアンの方は少なく、見られた方はパソコンの使い手だと思えます(2760 文庫より閲覧が出来ます)。

翌年の高橋治朗 PDG(2005-06) もガバナーホームページよりインターネット配信されています。以降のガバナーの方針でインターネット配信と印刷物での発行をされています。私も片山 PDG 年度に月信発行のお手伝いをしていましたが、月信発行の内情を知ると編集部スタッフは大変です。月信発刊費の試算段階で意外に経費の掛かるのが当時の81クラブへの月信配送代金です(81クラブ×13号×1,000円=1,053,000円)。現在のインターネット配信では配送費を必要としません。また、過去の月信は白黒で写真も少なくページ数に限りがありました。現在のインターネット配信で月信をご覧になってオールカラーでの配信にお気づきですか。インターネット配信の利点です。

ガバナー月信は報告書に成りがちですが、今年度のガバナー月信は一味違うところが有ります。毎月のガバナーメッセージ、委員会報告、会員の増減、ロータリー文庫と定番は変わりませんが、8月号ではリスボン国際大会の報告、興味深いのが今年度開催のシドニー国際大会の特集記事は興味を抱く素晴らしい内容です。9月号には名古屋アイリス RC 認証状伝達式 10月号には2760地区で初めて実施される「ワールド・フード+ふれ愛フェスタ」の主旨説明と「加納パストガバナーを偲んで」の記事。11月号は「22回 RYLA セミナー募集要項」が大きく取り上げています。テーマ「輝いて生きよう」サブテーマ「感謝の心で」の RYLA セミナーの標語も月信から知りました。12月号は「ワールド・フード+ふれ愛フェスタ」の報告が有ります。私も家族、友人と行きましたが心躍る音楽が流れた雰囲気の中、ひと時を過ごしました。1月号は地区大会報告、江崎柳節 PDG の『源流の会』に掲載のロータリー財団の記事、被災高校生委員会報告など月信を読まなければ地区内ロータリー情報、時の流れを知らずに過ぎてしまいます。一度ホームページよりご覧下さい。

「編集室だより」を楽しく読んでいます、愛知の偉人、西尾市の史蹟・お祭り記事を読み、一度紹介された西尾城址、諏訪神社などを散策したいと思います。

最後に、過去の月信が地区ホームページ、「ガバナーの歩み」から「2760 文庫」が閲覧できます。

月信 = 地区史です。地区ロータリーの過去を知る事が出来ます。

調べてみよう・・・「西尾ロータリークラブのチャーター伝達式は？」 = 第360地区 九鬼紋七ガバナー月信 1959年1月号P2に記事が有ります。日時：3月15日、場所：西尾小学校講堂、ロータリアンに「出来るだけ多数出席して下さい」と予告記事が書かれています。また4月号P1にチャーター伝達式の様子が記載されています。

自分の所属クラブの記事を探して見てはどうですか？



第105回 2014年RI国際大会 オーストラリア シドニー

切迫る

第2760地区 田中ガバナーを囲む夕食会のご案内

平素はロータリー活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

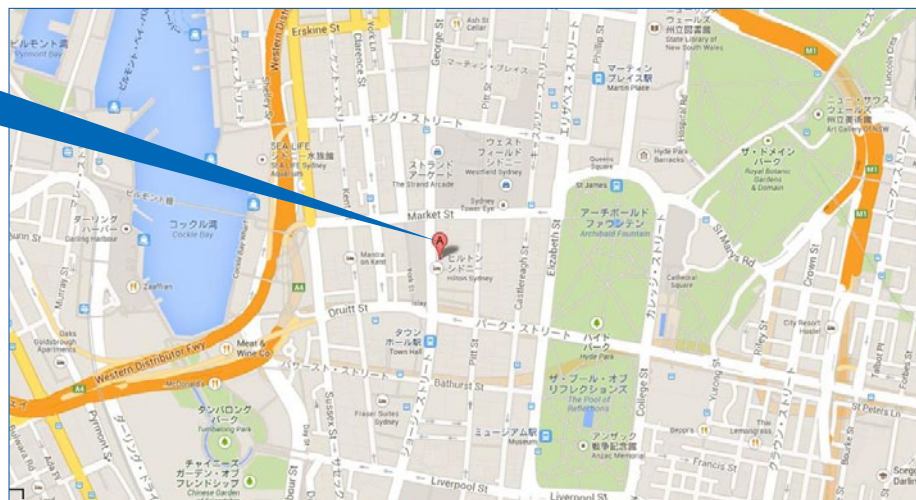
さて、2014年国際大会はオーストラリア シドニーで開催されます。伴いまして、2014年6月1日(日)シドニーにて「田中ガバナーを囲む夕食会(田中ガバナーナイト)」を開催いたしますので日時・場所・お時間等を下記のようにご案内申し上げます。

「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」のテーマのもと、有意義な夕食会になるようたくさんの方にご参加、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

記

- ◆日時 : 2014年6月1日(日)
18:30 集合・受付 記念写真撮影
19:00 ガバナーを囲む夕食会(着座・定席)
21:30 閉会
- ◆場所 : ヒルトン シドニー (HILTON SYDNEY)
住所: 488 GEORGE STREET, SYDNEY NSW 2000, AUSTRALIA
TEL: (02) 92662000
※会場詳細は後日ご連絡申し上げます
- ◆登録料 : 12,000円
- ◆締切り : 2014年3月末日

ヒルトン
シドニー





中部経済新聞 全面広告掲載



ポリオのない世界まで「あと少し」

国際ロータリー第2760地区



ロータリーのポリオ(小児マヒ)撲滅への挑戦

ポリオ(脊髄性小児マヒ)はポリオウイルスによる伝染病で、主に5歳未満の幼児が罹り、身体をまじさせて痺れによって呼吸困難や死亡に至ることもある。ポリオ感染後の後遺症によるマヒ障害を治療することはほとんど不可能で障害の対策は予防のみ。幼児へのワクチン投与が最良の手段となっている。

- 1979年 ロータリーが初めてポリオプラスプロジェクトに携わる。フィリピンの600万の児童にポリオの予防接種を遂げる15ヶ年間の誓約。
- 1985年 ポリオプラスプログラムを設ける。国連40周年を機に5年間毎日1億人の新生児にポリオワクチンを投与する費用1億2000万ドルを世界を集める声明を発表。
- 1995年 規定審議会においてポリオプラスの目標は西暦2000年までにポリオを一掃し、その後2005年までにポリオの撲滅を証明することを採択。
- 2002年 2002年4月より8000万ドルの募金キャンペーンがスタート。日本では、2002年から2005年までに1600万ドルを目標とし、1517万ドルを集めた。
- 2007年 規定審議会において、ポリオ撲滅をロータリーの最優先プロジェクトとすることが承認され、野生ポリオウイルスの撲滅が証明されるまで他のコアレポートプログラム(ロータリーを挙げて実施するプログラム)を採択しない決定。11月にビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団がロータリーに1億ドルのチャレンジャー・グラントを授与。これを契機にロータリーは2008年1月1日より13年に亘り新たに1億ドルを集めることを約束。
- 2008年 米国・サンディエゴで開催の国際協議会においてビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が更に2億5000万ドルの寄贈を声明。ロータリーも2012年6月30日までに更に1億ドルを上乗せすることを承諾。
- 2010年 第2760地区(愛知県)と第2630地区(岐阜県・三重県)のロータリアンら16人がインドに出向く。同日の「全国予防接種日」に参加。集まった250人を超える子供たちにポリオ予防ワクチンの投与と活動を行う。
- 2011年 第2760地区単独として初めて、2月にインドでのポリオワクチン投与活動に参加。
- 2012年 ロータリー2億ドルチャレンジ達成。2011年、2012年の2年連続でインドにおけるポリオ撲滅が継続。
- 2013年 江崎輪船内ロータリー財団地域コーディネーターと局長とするロータリアンと愛称、ローターアクトクラブのメンバー520人の派遣団が、第2760地区としてインド本土で実施されるポリオワクチン投与の日(2月24日)に、テリ市内でポリオワクチンの投与活動を行う。

私が子供の頃、小児マヒの後遺症で手足が不自由な子供が身の回りに1人や2人は必ずいました。当時、ポリオという言い方はしませんでした。ところが、しばらく経ってみると、そんな子供達を日本で見ることはなくなり、予防接種(ポリオワクチン)の普及により、日本でポリオが発症することがなくなったのです。

しかし、世界ではまだ多くの子供達がポリオに感染しています。国際ロータリーは「あと少し」を言葉に、ポリオを言葉に、ポリオの地上からの撲滅活動に拍車をかけている。国際ロータリーがポリオ撲滅活動に取り組みはじめて以来、34年間でポリオ感染数は99.9%減少し、現在世界にはアフリカ、アジア、南米、オセアニアの3カ国だけとなっている。しかし、いづれも未開拓地域や紛争地域などであって活動に障害のある地域は多く、国境を越えて他の国や州に侵入して感染が広がる恐れがあるため、完全な撲滅までは手前を許す。国際ロータリーは最後の追い込みに取り組み、また、目標達成までには多くの活動資金が必要としており、ロータリアンをはじめ、ポリオ撲滅に協賛する人々からの支援を求めている。

ポリオ撲滅に「あと少し」
国際ロータリー第2760地区
ポリオプラス委員会 委員長 岩崎光記

国際ロータリーは、1979年、はじめてポリオの予防接種の普及に取り組み、以来、30年以上に亘り、他の国際機関と協力し、ポリオ撲滅活動に協力し、ポリオ撲滅活動に「あと少し」の病気を「この地球上から完全に消滅させる。これは歴史的な快挙といえます。人類の夢であり、ロータリーの夢でもあります。この夢のご協力をお願いいたします。この夢



第2760地区のインド派遣団ら(2013年2月)



インドでのポリオワクチン投与活動(2013年2月)

国際ロータリー第2760地区
ロータリー財団委員会
ポリオプラス委員会
国際ロータリー第2760地区ガバナー事務所
〒445-0834 愛知県西海市水野町3丁目4番4号 西海総合会館 中央支店205
TEL:0563-53-2761 URL:http://www.rotary2760.org/

「あと少し」は、もうすぐそこには近づいてきた。2013年、はじめてポリオ撲滅活動に協力する人々が増え、活動資金も増え、活動の範囲も広がった。国際ロータリーは、この「あと少し」を言葉に、ポリオを言葉に、ポリオの地上からの撲滅活動に拍車をかけている。国際ロータリーがポリオ撲滅活動に取り組みはじめて以来、34年間でポリオ感染数は99.9%減少し、現在世界にはアフリカ、アジア、南米、オセアニアの3カ国だけとなっている。しかし、いづれも未開拓地域や紛争地域などであって活動に障害のある地域は多く、国境を越えて他の国や州に侵入して感染が広がる恐れがあるため、完全な撲滅までは手前を許す。国際ロータリーは最後の追い込みに取り組み、また、目標達成までには多くの活動資金が必要としており、ロータリアンをはじめ、ポリオ撲滅に協賛する人々からの支援を求めている。

国際ロータリーは「あと少し」を言葉に、ポリオを言葉に、ポリオの地上からの撲滅活動に拍車をかけている。国際ロータリーがポリオ撲滅活動に取り組みはじめて以来、34年間でポリオ感染数は99.9%減少し、現在世界にはアフリカ、アジア、南米、オセアニアの3カ国だけとなっている。しかし、いづれも未開拓地域や紛争地域などであって活動に障害のある地域は多く、国境を越えて他の国や州に侵入して感染が広がる恐れがあるため、完全な撲滅までは手前を許す。国際ロータリーは最後の追い込みに取り組み、また、目標達成までには多くの活動資金が必要としており、ロータリアンをはじめ、ポリオ撲滅に協賛する人々からの支援を求めている。



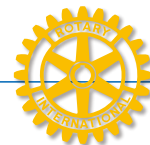
「ポリオのない世界まで「あと少し」」第2760地区 ガバナー 田中 正規氏

企画・制作/中部経済新聞社 企画開発局広告部

Rotary 2月23日はロータリー創立記念日 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 田中 正規

- | | | | | | |
|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 半田ロータリークラブ
会長 竹内 俊介 | 尾張中央ロータリークラブ
会長 熊澤 勝利 | 名古屋錦ロータリークラブ
会長 伊藤 康之 | 豊橋ゴールデンロータリークラブ
会長 高畑 健一 | 名古屋大須ロータリークラブ
会長 木村 光徳 | 豊田東ロータリークラブ
会長 愛知 治 |
| 常滑ロータリークラブ
会長 村田 聡 | 一宮中央ロータリークラブ
会長 柴田 裕市 | 名古屋東山ロータリークラブ
会長 早川 和男 | 尾張旭ロータリークラブ
会長 箕輪 良孝 | 名古屋栄ロータリークラブ
会長 細井 土夫 | 岡崎城南ロータリークラブ
会長 中根 常彦 |
| 東海ロータリークラブ
会長 大林善寿郎 | 瀬戸ロータリークラブ
会長 加藤隆三郎 | 名古屋葵ロータリークラブ
会長 阿部 恵彦 | 名古屋空港ロータリークラブ
会長 内海 辰巳 | 名古屋南ロータリークラブ
会長 白藤 憲雄 | 豊田三好ロータリークラブ
会長 近藤 隆治 |
| 東知多ロータリークラブ
会長 小笠原直樹 | 犬山ロータリークラブ
会長 住野龍之介 | 名古屋アイリスロータリークラブ
会長 八神 基 | 瀬戸北ロータリークラブ
会長 青山 弘彦 | 名古屋名駅ロータリークラブ
会長 神野 重行 | 豊田中ロータリークラブ
会長 河合 英二 |
| 半田南ロータリークラブ
会長 関野 利直 | 江南ロータリークラブ
会長 庄田 元久 | 豊橋ロータリークラブ
会長 高須 博久 | 岩倉ロータリークラブ
会長 楠木 治幸 | 名古屋丸の内ロータリークラブ
会長 西川 博 | 刈谷ロータリークラブ
会長 鈴木 豊 |
| 知多ロータリークラブ
会長 鈴木 直幸 | 小牧ロータリークラブ
会長 鈴木 文勝 | 蒲郡ロータリークラブ
会長 金原 久雄 | 名古屋城北ロータリークラブ
会長 玉置 政利 | 中部名古屋みらいロータリークラブ
会長 高橋 一吉 | 安城ロータリークラブ
会長 藤巻 雅人 |
| 大府ロータリークラブ
会長 加藤 正俊 | 春日井ロータリークラブ
会長 尾島比呂夫 | 豊橋北ロータリークラブ
会長 谷山 勉 | 愛知長久手ロータリークラブ
会長 山田 文明 | 名古屋北ロータリークラブ
会長 柴田 幸男 | 西尾ロータリークラブ
会長 杉浦 明博 |
| 一宮ロータリークラブ
会長 船橋 正員 | 名古屋東ロータリークラブ
会長 本多 清 | 豊川ロータリークラブ
会長 戸田 俊輔 | 名古屋ロータリークラブ
会長 大原 康之 | 田原パシフィックロータリークラブ
会長 柳田 豊 | 碧南ロータリークラブ
会長 長田 豊治 |
| 津島ロータリークラブ
会長 鈴木 吉男 | 名古屋守山ロータリークラブ
会長 木村 隆之 | 田原ロータリークラブ
会長 河合 利剛 | 名古屋西ロータリークラブ
会長 林 芳行 | 豊橋東ロータリークラブ
会長 平野 正博 | 西尾一色ロータリークラブ
会長 鈴木 茂樹 |
| 尾西ロータリークラブ
会長 前田 正和 | 名古屋和合ロータリークラブ
会長 藤澤 貞長 | 豊橋南ロータリークラブ
会長 藤村 秀樹 | 名古屋南西ロータリークラブ
会長 森口 雅文 | 岡崎ロータリークラブ
会長 中村 重嗣 | 高浜ロータリークラブ
会長 名倉 隆司 |
| 一宮北ロータリークラブ
会長 森 通保 | 名古屋名東ロータリークラブ
会長 齋藤 英夫 | 新城ロータリークラブ
会長 金沢 政樹 | 名古屋みなとロータリークラブ
会長 岩佐 信雄 | 豊田ロータリークラブ
会長 梅村 泰弘 | 知立ロータリークラブ
会長 倉田 泰行 |
| 稲沢ロータリークラブ
会長 岡田 義夫 | 名古屋名北ロータリークラブ
会長 宇都木 孝 | 渥美ロータリークラブ
会長 森下 三朗 | 名古屋東南ロータリークラブ
会長 玉木 大介 | 岡崎南ロータリークラブ
会長 服部 英男 | 西尾KIRARAOロータリークラブ
会長 鈴木 正司 |
| あまロータリークラブ
会長 高山 敏 | 名古屋千種ロータリークラブ
会長 萩原善代子 | 奥三河ロータリークラブ
会長 後藤 和治 | 名古屋中ロータリークラブ
会長 堀橋 美久 | 豊田西ロータリークラブ
会長 佐藤 仁功 | 三河安城ロータリークラブ
会長 寺部 保美 |
| 名古屋清須ロータリークラブ
会長 江川 泰彦 | 名古屋昭和ロータリークラブ
会長 大天 英孝 | 豊川宝飯ロータリークラブ
会長 高桑 剛 | 名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長 泉 憲一 | 岡崎東ロータリークラブ
会長 青山 俊次 | |



西尾の御殿万歳 (国指定重要無形民俗文化財)



西尾の御殿万歳は、一般に「三河万歳」と呼ばれています。また、伝わった地名をとり「森下万歳」とも呼ばれています。なぜ、西尾万歳が御殿万歳と呼ばれているのかというと、他の万歳が門前で舞う門付け万歳の形をとるのに対し、座敷に上がり床の前で舞ったことに由来します。

万歳の起源は古く、約700年以上の歴史を持っています。その起源は定かではなく、「高坂王説」「吉良太夫説」「応通禅師説」等多くの説があります。

やがて、万歳は江戸時代には全盛期を迎えます。徳川氏が三河出身ということもあり、名字帯刀、大紋の直垂の着用が許されるなど幕府の庇護を受けました。また、元日の江戸城の開門の儀を仰せつかるなど優遇されていたようです。

戦中戦後の動乱期を経て、若者達の万歳離れが進み、演者が減り、万歳は次第に衰微していきました。こうしたことを憂い、昭和29年に「西尾市三河万歳保存会」を結成、公共の招待上演と後継者の育成を主目的とした活動方針を立てました。平成7年12月には、現在も三河万歳を伝える、安城市の別所万歳、幸田町の三河万歳とともに国指定重要無形民俗文化財に指定されました。

現在の西尾の御殿万歳が抱える最大の問題点は、演者の高齢化とそれに伴う後継者不足です。そこで、昭和63年には地元の西野町小学校に御殿万歳クラブを作り、児童たちが保存会の方の指導を受け、この伝統ある万歳を受け継ぐべく努力しています。また、学校休業日には地域サークルとしての活動も行い、子供たちが外部の出演依頼を受けています。こうした子供たちが大人になったとき御殿万歳が再び盛り上がっていくことができるのか、これは大きな課題になっています。しかし、こうした動きが今後の御殿万歳の伝承への新たな一歩となることと思います。





会員数及び出席報告 (平成26年1月末)

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	1月 出席率
		2013年 7月1日	2013年 7/1女性	2014年 1月末日		1月	累計	1月	累計		
南尾張分区	半田	61	3	64	4	0	5	0	2	4	100.00%
	常滑	40	0	39	0	0	1	0	2	4	97.95%
	東海	47	1	53	2	0	6	0	0	4	98.58%
	東知多	20	1	20	1	0	0	0	0	4	81.12%
	半田南	37	1	41	1	4	4	0	0	4	97.50%
	知多	28	2	28	3	0	1	0	1	3	90.03%
	大府	18	1	18	1	0	0	0	0	4	77.50%
	7RC	251	9	263	12	4	17	0	5		91.81%
	西尾張分区	一宮	86	1	90	1	0	6	0	2	4
津島		67	4	68	4	1	3	0	2	4	98.83%
尾西		21	1	21	1	0	0	0	0	3	92.06%
一宮北		40	2	39	2	0	0	0	1	4	91.23%
稲沢		56	0	55	0	2	2	0	3	4	92.89%
あま		79	2	78	2	0	1	0	2	3	100.00%
名古屋清須		27	0	28	1	0	3	0	2	3	96.15%
尾張中央		33	0	32	0	0	0	0	1	4	89.93%
一宮中央		42	7	44	7	0	2	0	0	4	96.59%
9RC	451	17	455	18	3	17	0	13		94.94%	
東尾張分区	瀬戸	62	5	64	6	0	3	0	1	4	95.45%
	犬山	59	1	61	1	0	3	0	1	3	100.00%
	江南	48	1	50	1	2	3	0	1	4	90.24%
	小牧	25	1	26	0	0	4	0	3	4	96.96%
	春日井	51	2	58	2	2	8	0	1	4	96.91%
	尾張旭	25	1	27	1	0	2	0	0	4	96.30%
	名古屋空港	53	1	56	1	0	3	0	0	3	98.08%
	瀬戸北	70	8	67	7	0	0	0	3	4	100.00%
	岩倉	16	1	16	1	0	0	0	0	4	89.06%
	名古屋城北	31	4	31	4	0	2	0	2	3	94.17%
	愛知長久手	20	5	20	5	0	1	0	1	4	93.75%
	11RC	460	30	476	29	4	29	0	13		95.54%
	西名古屋分区	名古屋	185	0	187	0	0	7	1	5	4
名古屋西		92	0	100	0	3	8	0	0	4	88.54%
名古屋南		117	0	120	0	0	4	0	1	4	95.60%
名古屋みなと		68	0	70	0	0	2	0	0	4	100.00%
名古屋東南		81	7	86	6	4	9	0	4	4	83.57%
名古屋中		133	0	131	0	2	5	0	7	2	97.48%
名古屋瑞穂		64	0	62	0	0	1	0	3	4	97.61%
名古屋大須		62	7	61	6	0	2	1	3	4	90.50%
名古屋栄		78	0	82	0	0	6	0	2	3	94.15%
名古屋名南		55	7	55	7	0	1	0	1	3	91.50%
名古屋名駅		80	6	86	7	1	9	0	3	4	98.48%
名古屋丸の内		41	4	46	6	2	6	0	1	3	95.20%
中部名古屋みらい		24	7	24	7	0	0	0	0	4	46.88%
13RC		1,080	38	1,110	39	12	60	2	30		89.84%

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	1月 出席率	
		2013年 7月1日	2013年 7/1女性	2014年 1月末日		1月	累計	1月	累計			
東名古屋分区	名古屋北	91	0	93	0	0	3	0	1	4	96.54%	
	名古屋東	83	0	87	0	0	4	0	0	3	92.89%	
	名古屋守山	49	2	47	2	0	1	0	3	4	99.31%	
	名古屋和合	103	0	106	0	4	5	0	2	4	85.07%	
	名古屋名東	61	8	62	8	0	2	0	1	4	92.65%	
	名古屋名北	37	4	38	4	1	1	0	0	4	97.65%	
	名古屋千種	36	2	40	3	0	5	0	1	4	97.88%	
	名古屋昭和	51	1	52	2	1	5	1	4	3	96.45%	
	名古屋錦	33	10	32	10	0	0	0	1	4	88.15%	
	名古屋東山	33	4	33	4	2	2	0	2	3	92.93%	
	名古屋葵	20	0	20	0	0	1	0	1	4	57.50%	
	名古屋アリス	33	12	32	13	0	1	0	2	4	78.13%	
	12RC	630	43	642	46	8	30	1	18		89.60%	
	東三河分区	豊橋	118	3	119	3	1	2	0	1	4	92.16%
		蒲郡	57	0	60	0	0	3	0	0	4	90.93%
		豊橋北	77	4	75	4	0	2	0	4	4	98.21%
豊川		71	1	71	1	0	1	0	1	4	96.88%	
田原		45	1	46	1	1	3	0	2	4	95.35%	
豊橋南		58	0	56	0	0	1	0	3	2	98.98%	
新城		44	1	44	1	0	0	0	0	4	86.74%	
渥美		32	0	33	0	0	1	0	0	4	83.52%	
奥三河		15	3	15	3	0	0	0	0	4	91.07%	
豊川宝飯		57	3	54	2	0	0	1	3	4	95.89%	
豊橋ゴールデン		63	1	65	2	0	3	0	1	4	99.14%	
田原パンフィック		49	2	49	2	0	1	0	1	4	87.98%	
豊橋東		43	0	41	0	0	0	0	2	4	93.16%	
13RC	729	19	728	19	2	17	1	18		93.08%		
西三河中分区	岡崎	81	3	83	3	0	4	1	2	4	100.00%	
	豊田	85	0	92	0	0	7	0	0	4	98.57%	
	岡崎南	95	2	92	2	0	3	1	6	4	99.71%	
	豊田西	96	1	94	1	0	2	0	4	3	97.62%	
	岡崎東	60	0	62	1	2	5	0	3	4	96.51%	
	豊田東	73	0	76	0	1	4	0	1	4	97.12%	
	岡崎城南	72	0	75	0	0	3	0	0	4	98.53%	
	豊田三好	21	0	20	0	0	0	0	1	3	85.48%	
豊田中	42	6	43	6	0	1	0	0	4	96.39%		
9RC	625	12	637	13	3	29	2	17		96.66%		
西三河下分区	刈谷	95	4	96	4	0	3	0	2	3	100.00%	
	安城	58	4	60	4	0	2	0	0	4	90.32%	
	西尾	75	2	75	2	0	0	0	0	4	98.83%	
	碧南	63	3	67	3	1	5	0	1	3	86.08%	
	西尾一色	29	0	27	0	0	1	0	3	4	98.91%	
	高浜	34	2	34	2	0	0	0	0	4	100.00%	
	知立	61	0	62	0	0	3	0	2	4	100.00%	
	西尾KIRARA	58	1	58	1	1	1	1	1	4	100.00%	
	三河安城	63	6	63	6	0	1	0	1	4	96.43%	
	9RC	536	22	542	22	2	16	1	10		96.73%	

	クラブ	平均
平均出席率	83	93.52%

地区内クラブ数 83RC	2013年7月1日会員数	4,762名	内女性 190名	増加会員数(累計)	215名
	1月末会員数	4,853名	内女性 198名	減少会員数(累計)	124名
	当月平均出席率	93.52%		差引純増会員数(累計)	91名

1月	入会	退会	純増
	38名	7名	31名